

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
東郷西部地区

平成22年4月

愛知県東郷町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	新規住宅着工件数	件	4	20	39	確定 見込み ●	○	あり なし	58	H22年4月	○	予想以上に開発があり、新規住宅が着工された。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路整備事業が周辺の宅地開発に対する意欲を高め、効果発現を促した。また、運動して行った低未利用地における小規模区画整理事業もまちの価値を引き上げ周辺の開発意欲を向上させた。
指標2	居住者数	人	7,706	9,000	9,135	確定 見込み ●	○	あり なし	9,270	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路整備により開発意欲を促したことで人口増加につながった。また、新市街地の地区では子育て支援に力を入れたことで、転入者が多くなり人口増加に繋がった。
指標3	消防活動困難区域の解消	ha	0.9	0.0	0.0	確定 見込み ●	○	あり なし	0.0	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区内の消防活動が円滑に行えるようになることで、安心して暮らせるまちづくりを実現できる土台が整った。
指標4	緑化率	%	56.5	60.5	60.6	確定 見込み ●	○	あり なし	60.6	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	ワークショップにて、地区住民が参加して計画を策定したことで、地域での公園の使用法、維持管理に対する意識の高まりが見られる。
指標5						確定 見込み ●		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	子育て施設の利用者数	人	-	-	49,101	確定 見込み ●	/	/	45,635	H22年4月	/	評価値の見込み推計が過大であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	評価値に比べると低い数値となったが、前年度の利用者数と同等であり、町内の他の児童館に比べても、高い年間利用者数となり、それだけ児童を含めた親の集まる機会が多く、子育て支援に繋がっている。
その他の数値指標2						確定 見込み ●	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み ●	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	町内の子育て活動の拠点となるべく、継続的な活動を積極的に推進する。	平成21年度から利用しやすい放課後児童クラブを目指し、利用時間を延長した。また、兵庫小学校において放課後子ども教室を試行で実施した。	放課後児童クラブの利用者の利便性が向上した。また、平成22年度から放課後子ども教室を本実施する。	今後も子育て世帯の増加が見込まれる地域であるため、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の利用希望者が定員を上回る際の事業拡充等を検討する必要がある。
	民間の開発事業を活用した地区計画道路の整備及び土地区画整理事業等を活用した都市的未利用地の有効利用を促進していく。	道路や公園の整備状況の報告を地区に回覧し、都市的未利用地の有効活用を促した。	民間開発により、都市的未利用地の活用が図られるようになった。	土地区画整理事業の支援及び民間開発の適正な指導等により、地権者の機運を高め、都市的未利用地の有効活用を推進していく。
	地区計画で定めている残りの新設路線について事業を推進していく。	未整備の路線についても実施計画を作成し、計画的な整備を進めている。	H22年度予算については、新たな路線について用地買収費の確保ができた。	財政難ではあるが、予算確保に努め、事業を推進する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	他地域の子育て世代との交流を積極的に図る。	子育て支援センターを拠点に東郷西部地区内の部田山地区を子育て支援のモデル地区として事業展開していたものを平成22年度から他の地区へも拡大し、町内全体での子育て支援事業を拡充するための準備をした。	平成22年度から他の地域の児童館などを拠点に子育て支援事業の拡充により、他の地域でも子育て世代の交流がより図れるようになる。	地域の特性に合わせた子育て支援事業を拡充すること。
	狭あい道路の整備をはじめ、社会資本整備を促進していく。	下水道整備を進めている。	新市街地との都市基盤施設の格差が少しずつ解消されている。	完了した地区から早急に供用開始を目指していく。
	狭あい道路の整備には、建物建替えの際のセットバックを伴うことが前提となるため、住民へ積極的に周知していく。	地元の白土・涼松まちづくり協議会に道路や公園の整備状況の報告を実施した際に狭あい道路に接する建物建替えの際のセットバックについても説明し、合わせて地区内の住民にチラシを回覧し周知を図った。	狭あい道路に接する建物建替えの際のセットバックが適正に行われている。	セットバックが完了した路線から早急に整備を行っていく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
公園愛護団体の育成	新たに整備した公園について、地域に親しまれる公園とするため、公園愛護の団体を育成する。	平成22年度	自治会や各種住民団体との連携強化